



あしんや 伸也県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855

千葉市中央区市場町2番13号

電話 043(227)7411

今を生き、未来を生きる者の視点で



一般質問に立つ阿井県議

■山武郡特集■ 6月県議会一般質問

「情熱！行動！共につくりよう。未来の山武」をモットーにする阿井伸也（あしんや）県議は、山武郡選挙区で今春、3度目の当選を果たしました。「明確なビジョンと確実な実行を目指して」人づくり、社会づくり、産業づくり、道づくりを政策の骨子に据え、3期目の県政活動にまい進しています。

改選後初の6月県議会では精力的に早くも一般質問に登壇。九十九里振興を踏まえた「観光立県」のほか、子育て支援や学校間格差の「教育問題」「羽田空港拡張案」「人件費抑制」「入札・契約制度」を質疑、県民の生活視点で県側の姿勢を鋭く追及しました。

九十九里観光振興で質疑

阿井 ちばデスティネーションキャンペーンの結果について、費用対効果はどうだったのか。

商工労働部長 総費用は約3億5千万円で、市町村、観光事業者など、ちば観光プロモーション協議会を構成する各会員が負担。県は2億2千万円でした。

メディアとJ.Rの協力で全国で千葉の宣伝活動を展開し知名度が高められました。経済波及効果は推計作業中で、期間中の観光入込客数は前年に比べ約222万人増、宿泊客が約13万人増で、伴う飲食、宿泊、土産など大きな効果がありました。

阿井 ちばデスティネーションキャンペーンにおける九十九里地域の取り組みはどうであったのか。また、観光立県に向けて、今後九十九里地域でどのように取り組んでいくのか。

商工労働部長 期間中、横芝光町の梅まつり、九十九里町のイワシまつり、山武市のイチゴ狩り、白子町の温泉特別プランなど各地の特色を生かした様々な催しが行われました。中でも「九十九里ウォークフェスタ」では4万2千人の参加者があり、改めて九十九里浜の観光資源としての潜在性の高さが示されました。

今後の取り組みですが、県は連携気運の高まった地

元と一体となつて九十九里浜が持つ様々な観光資源を最大限生かしてまいります。

また、健康づくりや自然体験教育など、新たなニーズにも応じられる観光地作りを進めて生きたいと考えています。

【要望】阿井 九十九里地域における観光立県については、広域的な連携が必要であるというところは一致した意見であると思う。

ちばデスティネーションキャンペーンでは、集客が低調であったが、ぜひ、来年、千葉県を訪れる観光客が1.5倍という目標を設定しているのだから、それを目指して努力するよう要望する。

続きの簡素化について検討を行っています。

【要望】阿井 総合評価方式の実施に際し、加算方式と除算方式のどちらの方式を採用するのか、価格以外の評価をどのような基準で誰が行うかなど、今後十分な検討が必要である。例えば、企業が環境への配慮を行っているかなど、行政としての政策目的を評価基準に加え、社会的に配慮した「総合評価方式」をめざすべきである。県の行うべき入札・契約制度の見直しを時間をかけて行うべきだ。

県政や山武地域についてのご要望、ご意見をお寄せ下さい

〒299-3251 山武郡大網白里町大網155
TEL0475(73)0800
FAX0475(73)1465

ホームページ <http://www.king.co.jp/ai/> eメール ai@king.co.jp

入札制度見直し、時間かけて議論を

阿井 昨年10億円以上から2億円以上に拡大した一般競争入札の対象工事を、なぜ1年あまりで拡大するのか。またなぜ5千万円以上とするのか。

県土整備部長 談合事件を契機に公共工事の入札の信頼を取り戻すため、国から本年3月に通知がありまして。県も適正化へ見直しを実施、年間発注金額の概ね50%に当たる5千万円以上で実施することとしました。

PROFILE ■あしんや県議

- 昭和39年3月27日生まれ(43歳)
- 大網小、大網中、長生高卒
- 法政大学法学部政治学科卒
- 国会議員公設秘書
- 平成19年4月 千葉県議会議員選挙にて3期目の当選
- 大網白里町消防団員
- 大網白里町サッカー協会会長
- 東総少年サッカー連盟会長
- 九十九里トルシニア会長
- 県議会 環境生活警察常任委員会副委員長
- 千葉県 水道事業運営審議会委員
- 自民党千葉県連青年局長

9月27日(木)10時～ 9月議会で阿井伸也県議代表質問予定、千葉テレビで放映

子育て支援へ親子ノートや情報提供

山武郡特集 6月県議会一般質問



県議会の自席で再質問

育などを充実させるなど、各学校が特徴を生かし、地域や県民に信頼され魅力ある学校づくりを推進していきます。

阿井 国家公務員の給与と告及び県内の民間事業従業員の給与水準はどうか。人事委員会事務局 昨年の人事院勧告は国家公務員の

給与と民間給与の格差18円で給与改定は見送られました。県職員は民間給与を70円(0.02%)下回ってましたが改定を求めませんでした。本年の民間給与は調査終了、精査しています。阿井 知事部局では非常勤職員をどの程度雇用し、いくら払っているのか。

総務部長 18年4月1日現在、嘱託1000人、日々雇用職員約1000人、合わせて約1100人、費用は約20億円です。阿井 非常勤職員の雇用について精査する必要があります。阿井 総務部長 十分に精査したい。

何かという富里案のときにその面積を半分にして欲しいと要望し、三里塚案の時に半分になったわけです。その代わりに羽田の拡張を要望していたわけで、友納知事のこれ以上上げたたくない、農民に迷惑をかけたくないという当時の気持ちに精査されます。しかし、現実には国に翻弄され続けてきたわけで、例えば昭和44年の着工が成田空港です。その前にすでに羽田空港の拡張工事が始まっているわけで、そして昭和53年5月の開港、その前年には東京都は羽田沖への移転要望を国に出しています。ですから、成田空港は何であつたのかという疑問を抱かざるを得ません。

羽田空港再拡張、環境対策を

阿井 成田・羽田空港問題で羽田空港との有機的な連携を強化するということがアジア・ゲートウェイ構想の「成田・羽田の戦略的、一体的活用」と同じ意味であれば羽田の国際化と24時間化を推進することになると思うがどうか。

阿井 成田・羽田空港問題を千葉県は担ってきたからです。騒音の問題にしても国と皆さんの約束事を作って運営しているにもかかわらず、内閣が「もう成田の国際化はいらん。羽田は24時

間を欧米に行く」。これは無茶な話で不条理です。羽田の24時間化と国際化が次の安倍総理の出す「骨太の方針」に書かれてしまふことだけは阻止しなければなりません。

阿井 環境を大切にしている知事が、なぜ東京湾の埋め立てを行う羽田の再拡張をなし崩し的に認めてきたのか。知事 国策としてアジアの国の状況を考えたときに決断せざるを得なかった。国土交通相に対して、準備がない、反省してほしいと千葉県の状況を話し、総理にも伝えてくださったというのが現状でご理解ください。

【要望】阿井 友納知事から佐藤総理への要望の中で、不測の事態を避けるため羽田空港の拡張等を並行して行うべきと言っています。今後の対応は同じことを繰り返さぬようきちんとしなければなりません。羽田の再拡張による環境悪化は、県と県民が守られるよう国に対して交渉してほしい。

阿井 「千葉県教育の戦略的なビジョン」では、乳幼児期の子育てに悩む親への支援と思春期・反抗期の子育てに悩む親への支援に「待つたなし」とあるが、今後どのように取り組んで行くのか。教育長 県教委では、議論の中から生まれた提言・アイデアを受け「親と子ども学習ノート」を今年度作成

することをはじめ、子育てのための基本的な情報を家庭教育手帳やインターネットなどで提供するとともに、相談体制、保護者向け講座、親同士の交流を目的とした親と子の居場所づくりなどを重点的な取り組みと位置づけて進めます。阿井 公立と私立の学校における学力の格差の広がりに

ついて、県はどう考えるか。教育長 公立、私立の学校が互いに切磋琢磨し、発展・向上することが千葉県の教育にとって大切であると考えています。県教委として「学力向上プロジェクト事業」を推進するとともに県立高校は進学指導、キャリア教育、理数教育、英語教

育などを充実させるなど、各学校が特徴を生かし、地域や県民に信頼され魅力ある学校づくりを推進していきます。

阿井 国家公務員の給与と告及び県内の民間事業従業員の給与水準はどうか。人事委員会事務局 昨年の人事院勧告は国家公務員の

給与と民間給与の格差18円で給与改定は見送られました。県職員は民間給与を70円(0.02%)下回ってましたが改定を求めませんでした。本年の民間給与は調査終了、精査しています。阿井 知事部局では非常勤職員をどの程度雇用し、いくら払っているのか。

総務部長 18年4月1日現在、嘱託1000人、日々雇用職員約1000人、合わせて約1100人、費用は約20億円です。阿井 非常勤職員の雇用について精査する必要があります。阿井 総務部長 十分に精査したい。

何かという富里案のときにその面積を半分にして欲しいと要望し、三里塚案の時に半分になったわけです。その代わりに羽田の拡張を要望していたわけで、友納知事のこれ以上上げたたくない、農民に迷惑をかけたくないという当時の気持ちに精査されます。しかし、現実には国に翻弄され続けてきたわけで、例えば昭和44年の着工が成田空港です。その前にすでに羽田空港の拡張工事が始まっているわけで、そして昭和53年5月の開港、その前年には東京都は羽田沖への移転要望を国に出しています。ですから、成田空港は何であつたのかという疑問を抱かざるを得ません。

環境生活警察常任委員会で協議する阿井県議(左)

3期目も誠実、着実に 情熱、行動、共につくる未来の山武 あい伸也 県議

6月県議会自民党代表質問

職員給与減額措置継続で論戦 改選後の6月県議会、最大会派の自民党代表質問に岡村泰明政調会長(四街道市選出、4期目)が登壇、財政、成田空港問題、高齢者問題、医療、環境、新産業振興、教育など幅広い今日の課題について質問、県の姿勢をたずねた。財政問題では、同議会に追加提案された県職員給与の減額措置の継続案について、「6年間も職員に負担を課すことについて、どのように考えているのか」と質問。知事は「財政健全化に向け、さらなる行財政改革に取り組んでいく必要がある。苦渋の決断」と理解を求めました。また、平成18年度一般会計決算見込みでは、2月議会時の「収支均衡」から一転、28億円程度の赤字となる見込みとしました。羽田空港の国際化の進展に対する県の考え方は、今後も「成田は国際、羽田は国内」の基本方針の堅持を強調。増大する首都圏の国際航空需要に対応するため、成田空港平行滑走路の北伸整備を着実に進め、羽田と成田の有機的連携強化が「唯一現実的な対応」と述べました。